

子ども・子育て支援サービスの見込量と確保方策（修正版）

教育・保育の量の見込みと確保方策

各事業の量の見込みと確保方策について、表の左には第1期計画の計画値（平成30及び令和1年度は改定版の計画値）及び実績値、右には第2期計画の推計値（ニーズ調査から保護者の利用意向をもとに算出したもの）及び見込値を記載しています。

1 幼稚園・認定こども園（1号及び2号認定、3～5歳児）

※2号認定（幼稚園の利用希望が強い）

【提供区域：全域】

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値と同水準の推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

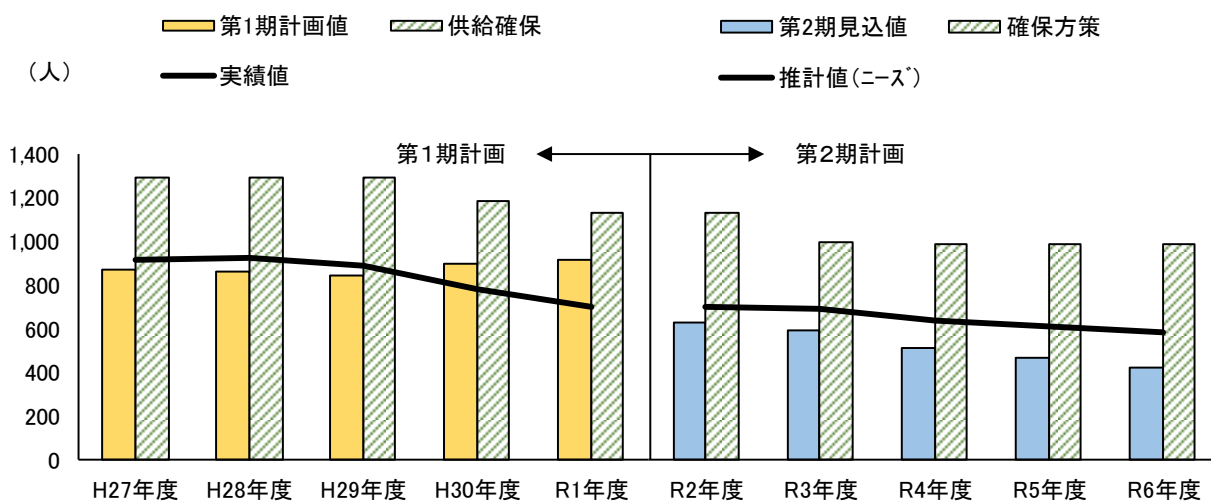
なお、令和3年度に認定こども園が1園、令和4年度に認定こども園が1園増えることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	918	921	888	780	700	推計値(ニーズ)	699	692	636	613	587
第1期計画値	872	861	841	901	912	第2期見込値	631	592	515	467	419
供給確保	1,290	1,290	1,290	1,185	1,130	確保方策	1,130	1,000	990	990	990

※第2期見込値：第1期計画の3～5歳児の利用率（増減の平均値-2.0）を基礎として算出



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
3-5歳人口(実績)	1,918	1,905	1,888	1,780	1,754	3-5歳人口(推計)	1,665	1,648	1,520	1,463	1,401
利用率	47.9%	48.3%	47.0%	43.8%	39.9%	利用率(推計)	37.9%	35.9%	33.9%	31.9%	29.9%

2 保育所・認定こども園など（2号認定、3～5歳児）

※2号認定（保育所等利用希望者）

【提供区域：全域】

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値と同水準の推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

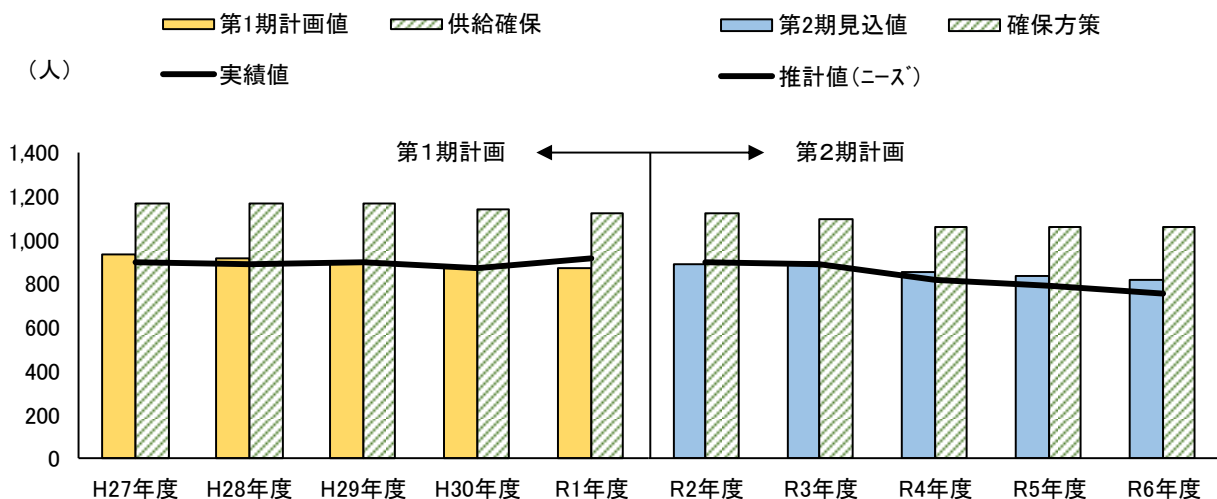
なお、令和3年度に認定こども園が1園、令和4年度に認定こども園が1園増えることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	900	885	902	875	912	推計値(ニーズ)	900	891	820	791	757
第1期計画値	933	917	898	879	868	第2期見込値	887	900	850	837	820
供給確保	1,163	1,163	1,163	1,136	1,121	確保方策	1,121	1,084	1,050	1,050	1,050

※第2期見込値：第1期計画の3～5歳児の利用率（増減の平均値+1.3）を基礎として算出



■参考

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
3-5歳人口(実績)	1,918	1,905	1,888	1,780	1,754	3-5歳人口(推計)	1,665	1,648	1,520	1,463	1,401
利用率	46.9%	46.5%	47.8%	49.2%	52.0%	利用率(推計)	53.3%	54.6%	55.9%	57.2%	58.5%

3 保育所・認定こども園など（3号認定、0～2歳児）

【提供区域：全域】

（1）0歳

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、供給過多とならないよう利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

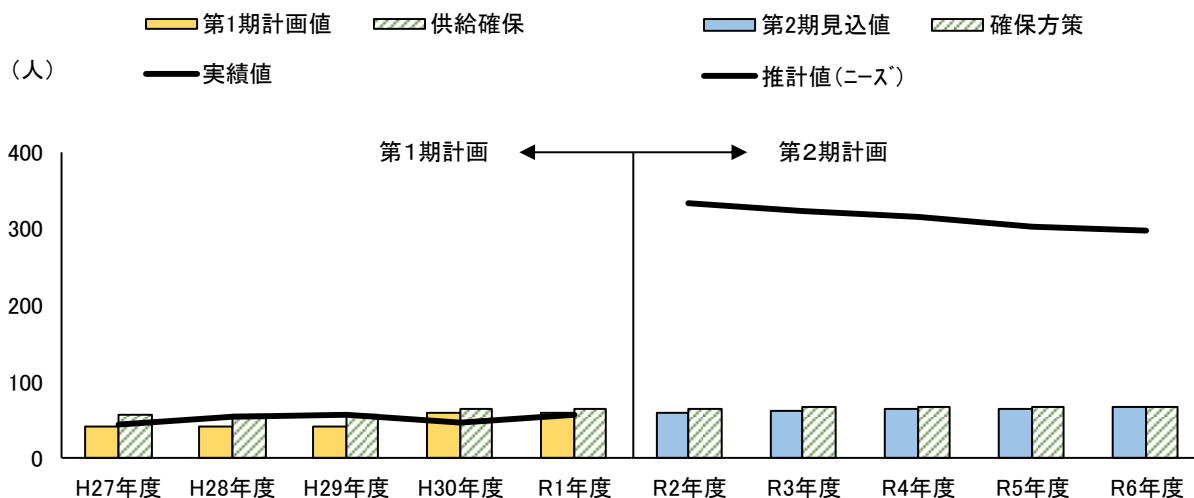
なお、令和3年度に認定こども園が1園、令和4年度に認定こども園が1園増え、地域型保育事業が1か所認可されることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	43	53	55	46	55	推計値(ニーズ)	334	324	316	304	298
第1期計画値	42	41	40	60	60	第2期見込値	58	61	63	65	67
供給確保	55	55	55	63	63	確保方策	63	66	70	70	70

※第2期見込値：第1期計画の0歳児の利用率（増減の平均値+0.9）を基礎として算出



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0歳人口(実績)	539	590	514	511	472	0歳人口(推計)	464	452	440	424	415
利用率	8.0%	9.0%	10.7%	9.0%	11.7%	利用率(推計)	12.6%	13.5%	14.4%	15.3%	16.2%

(2) 1・2歳

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、供給過多とならないよう利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

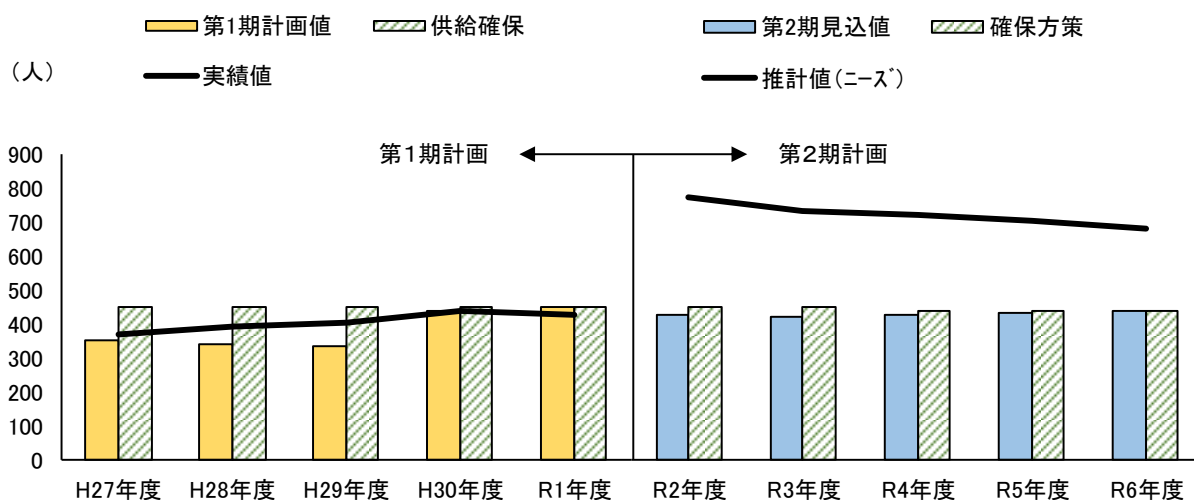
なお、令和3年度に認定こども園が1園、令和4年度に認定こども園が1園増え、地域型保育事業が1か所認可されることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	369	394	401	440	428	推計値(ニーズ)	774	735	720	702	679
第1期計画値	349	343	336	440	449	第2期見込値	426	422	430	435	437
供給確保	451	451	451	451	451	確保方策	451	451	438	438	438

※第2期見込値：第1期計画の1, 2歳児の利用実績を基礎として算出



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1, 2歳人口(実績)	1,247	1,146	1,133	1,118	1,039	1, 2歳人口(推計)	991	942	922	898	870
利用率	29.6%	34.4%	35.4%	39.4%	41.2%	利用率(推計)	43.0%	44.8%	46.6%	48.4%	50.2%

■参考値【待機児童数】

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	20	19	70	17	3	目標値	0	0	0	0	0

地域子ども・子育て支援事業の見込みと確保方策

各事業の量の見込みと確保方策について、表の左には第1期計画の計画値(平成30及び令和1年度は改定版の計画値)及び実績値(令和1年度は推計値)、右には第2期計画の推計値(ニーズ調査から保護者の利用意向をもとに算出したもの)及び見込値を記載しています。

1 地域子育て支援拠点事業

【提供区域：全域】

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

実績値と推計値(ニーズ)の差を見ると、実績値に対して多くの推計値(ニーズ)が見込まれており、供給過多とならないよう利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

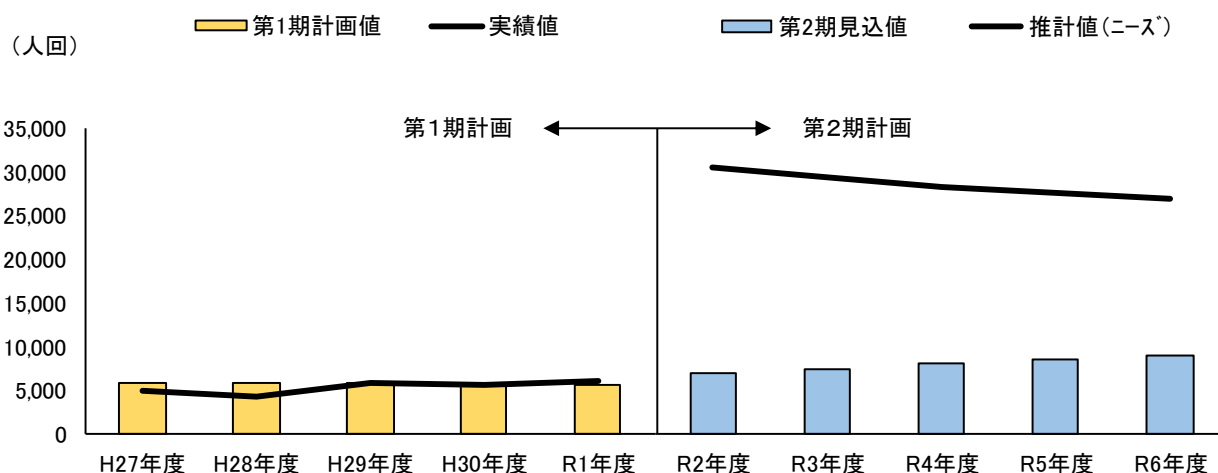
なお、令和3年度に認定こども園が1園、令和4年度に認定こども園が1園増えることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

(単位：人回)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	4,904	4,318	5,819	5,533	5,863	推計値(ニーズ)	30,576	29,388	28,356	27,564	26,856
第1期計画値	5,819	5,819	5,819	5,533	5,533	第2期見込値	6,213	6,583	6,976	7,392	7,833
供給確保(か所)	2	2	2	3	3	確保方策(か所)	3	4	5	5	5

※第2期見込値：第1期計画(H27-30)の平均増加率(106.0%)を基礎として算出



2 子育て短期支援事業

【提供区域：全域】

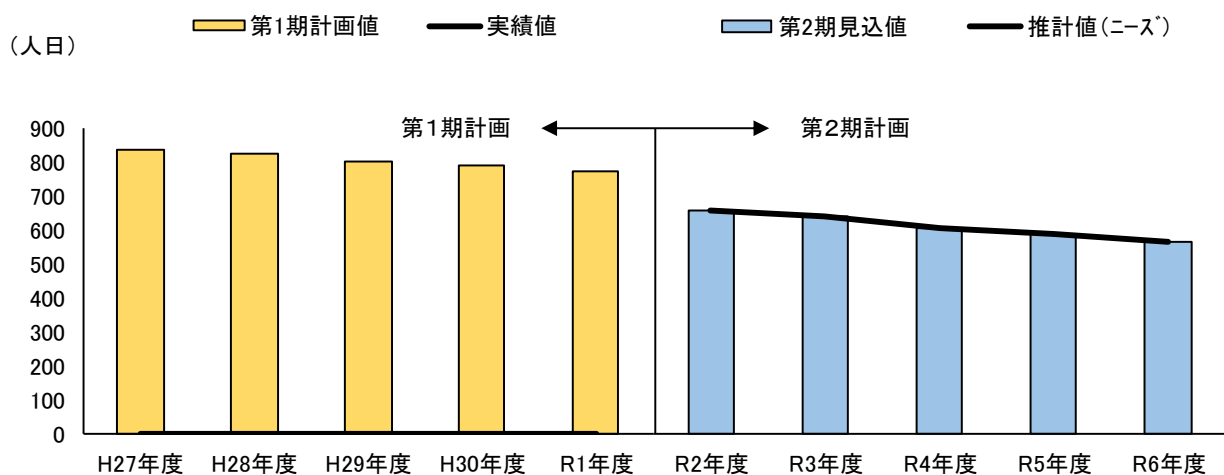
保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業です。

現在、事業は未実施となっておりますが、計画値と同水準の推計値（ニーズ）が見込まれており、今後の実施の可能性を含め、適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	0	0	0	0	0	推計値(ニーズ)	658	642	608	587	567
第1期計画値	837	823	805	789	772	第2期見込値	658	642	608	587	567
供給確保(か所)	0	0	0	0	0	確保方策(か所)	0	0	0	0	0



3 ファミリー・サポート・センター（子育て援助活動支援事業）

【提供区域：全域】

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

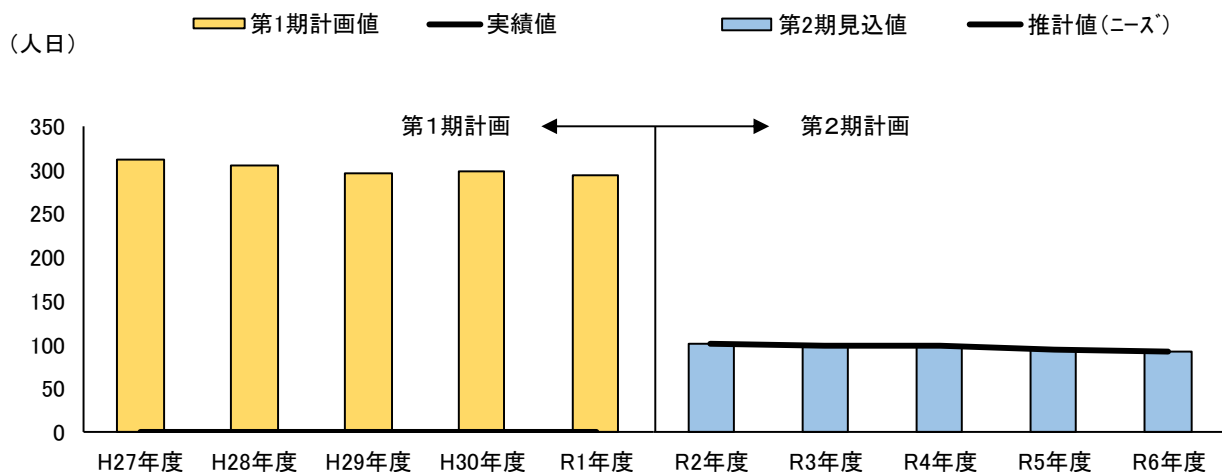
平成30年5月1日から事業を開始するとともに、市内教育機関、保育施設、小学校、民生委員等への周知・啓発を実施しています。平成30年度にはマッチングの成約はありませんでしたが、依頼会員38名・提供会員18名、両方会員2名の58名の会員が登録されました。

一定の推計値（ニーズ）が見込まれていることから、適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。今後も事業の周知・啓発に努め、会員の確保に努めます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	0	0	0	0	0	推計値（ニーズ）	102	99	98	94	91
第1期計画値	313	305	297	298	294	第2期見込値	102	99	98	94	91
供給確保（か所）	0	0	0	1	1	確保方策（か所）	1	1	1	1	1



4 一時預かり事業

【提供区域：全域】

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所で一時的に預かる事業です。

(1) 幼稚園在園児を対象とした一時預かり

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対してやや多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

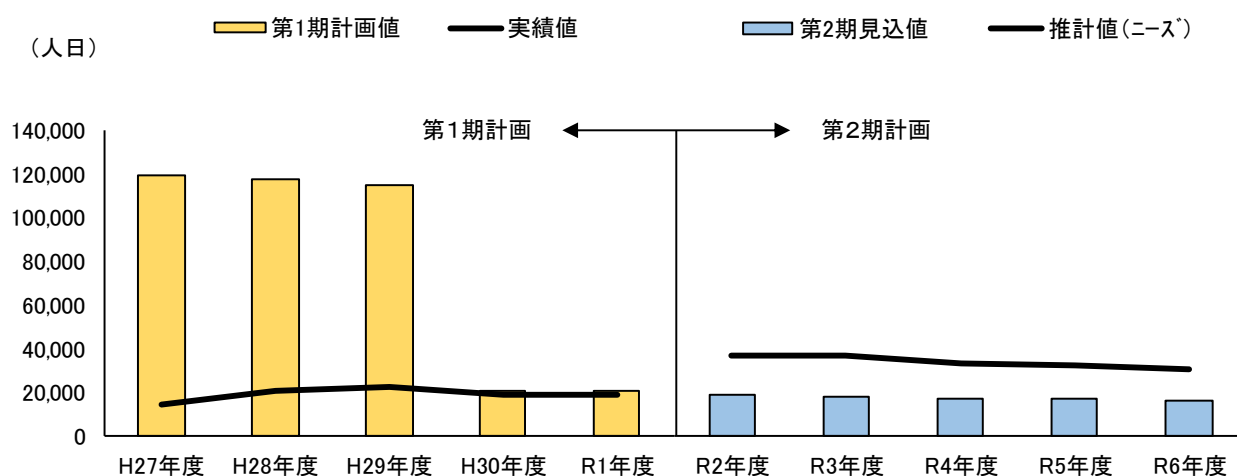
なお、令和3年度に認定こども園が1園、令和4年度に認定こども園が1園増えることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

(単位：人日)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	14,093	20,984	22,509	19,139	18,402	推計値(ニーズ)	36,780	36,358	33,492	32,255	30,883
第1期計画値	119,346	117,799	115,135	21,000	21,000	第2期見込値	17,693	17,011	16,356	15,726	15,120
供給確保(か所)	5	5	5	5	5	確保方策(か所)	5	6	7	7	7

※第2期見込値：第1期計画（H28-30）の平均増加率（96.1%）を基礎として算出



(2) その他の一時預かり

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

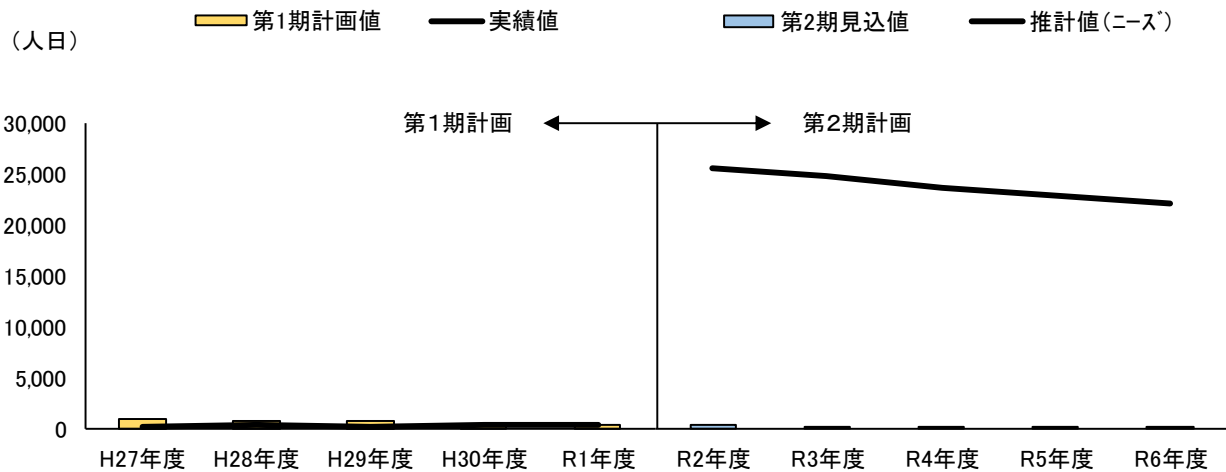
なお、令和4年度に公立保育所1園で新たに事業を実施することを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	244	350	236	289	321	推計値（ニーズ）	25,549	24,783	23,685	22,857	22,090
第1期計画値	859	842	821	400	400	第2期見込値	357	396	440	489	544
供給確保（か所）	4	4	5	5	5	確保方策（か所）	5	5	6	6	6

※第2期見込値：第1期計画（H27-30）の平均増加率（111.1%）を基礎として算出



5 延長保育事業

【提供区域：全域】

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所、認定こども園等で保育を実施する事業です。

平成30年度から、アップル幼稚園が幼稚園型認定こども園となり、実施施設が増加しており、現在、公立保育所9園、私立保育園2園、私立認定こども園1園において、事業を実施しています。

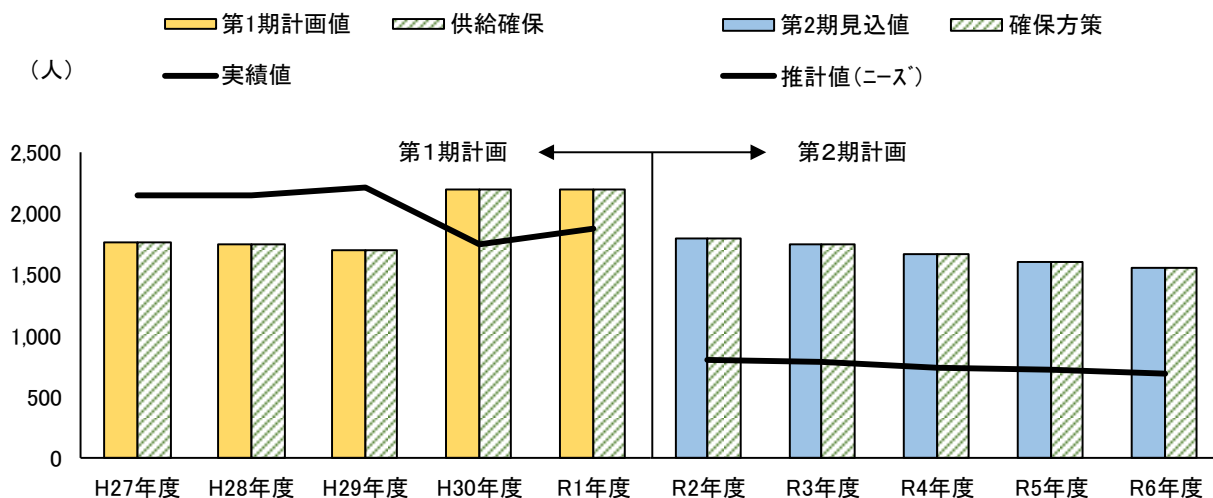
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して少ない推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	2,146	2,146	2,206	1,745	1,881	推計値(ニーズ)	806	785	744	720	694
第1期計画値	1,771	1,741	1,704	2,200	2,200	第2期見込値	1,798	1,753	1,661	1,605	1,548
供給確保	1,771	1,741	1,704	2,200	2,200	確保方策	1,798	1,753	1,661	1,605	1,548

※第2期見込値及び確保方策：第1期計画の児童数（0-5歳）に対する利用率の平均値（57.6%）を基礎として算出



■参考

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0-5歳人口(実績)	3,704	3,641	3,535	3,409	3,265	0-5歳人口(推計)	3,120	3,042	2,882	2,785	2,686
利用率	57.9%	58.9%	62.4%	51.2%	57.6%						

6 病児保育事業

【提供区域：全域】

病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業です。

現在、市内にある内科医院内において1日4人を定員で病時・病後時保育を実施しています。

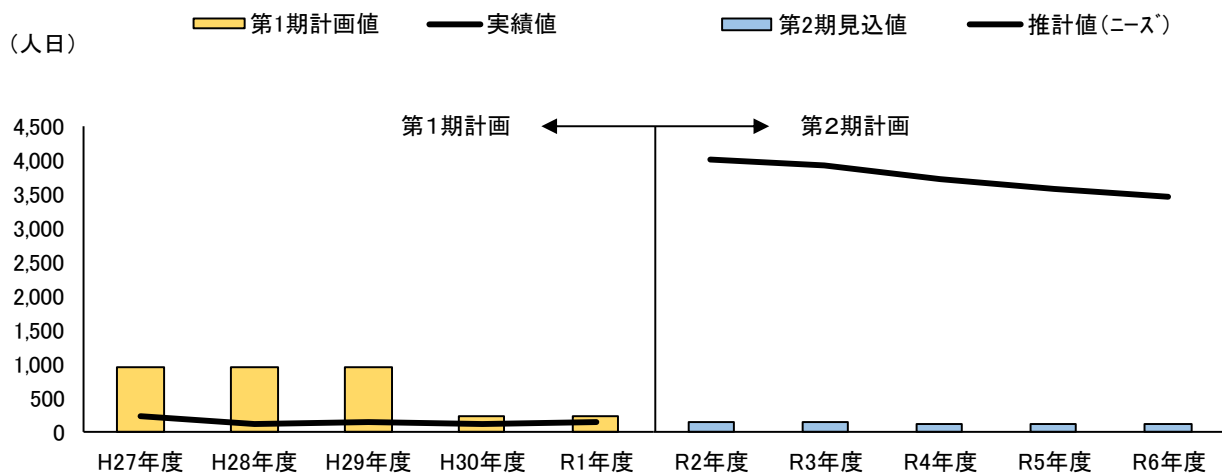
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	221	121	141	101	137	推計値(ニーズ)	4,023	3,922	3,719	3,590	3,465
第1期計画値	964	964	964	220	220	第2期見込値	133	128	125	121	116
供給確保(か所)	1	1	1	1	1	確保方策(か所)	1	1	1	1	1

※第2期見込値：第1期計画の児童数（0-11歳）に対する利用率の平均値（1.9%）を基礎として算出



■参考

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0-11歳人口(実績)	7,933	7,787	7,568	7,413	7,228	0-11歳人口(推計)	7,020	6,784	6,603	6,374	6,152
利用率	2.8%	1.6%	1.9%	1.4%	1.9%						

7 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【提供区域：全域】

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、供給過多とならないよう利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

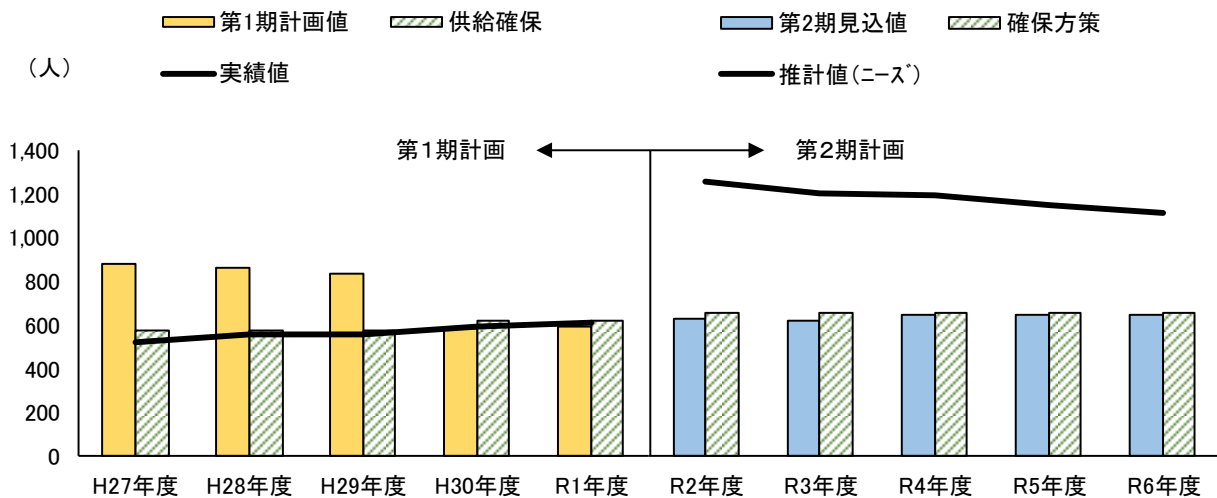
そのため、第2期見込値の算出にあたっては、次頁の過去5か年の利用児童及び児童数から利用率を算出し、今後5か年の推計を行いました。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	523	558	556	591	610	推計値(ニーズ)	1,259	1,202	1,195	1,149	1,115
第1期計画値	878	860	839	580	590	第2期見込値	631	627	655	647	655
供給確保	570	570	570	615	615	確保方策	655	655	655	655	655

※第2期見込値：第1期計画の利用率を基礎として算出（詳細は次頁）



■利用児童の実績値及び推計値（ニーズ）

《実績値》	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	《推計値(ニーズ)》	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全体	523	558	556	591	610	全体	1,259	1,202	1,195	1,149	1,115
低学年	434	473	423	459	470	低学年	724	683	677	641	635
高学年	89	85	133	132	140	高学年	535	519	518	508	480
1年生	171	158	162	162	186	1年生	237	205	234	201	200
2年生	165	165	133	164	151	2年生	240	237	205	234	201
3年生	98	150	128	133	133	3年生	247	241	238	206	234
4年生	59	57	90	83	87	4年生	177	172	168	166	143
5年生	19	19	35	31	38	5年生	170	177	173	169	168
6年生	11	9	8	18	15	6年生	188	170	177	173	169

■児童数の実績値及び推計値（過去5か年の実績による推計）

《児童数(実績)》	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	《児童数(推計)》	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1年生	698	633	658	646	627	1年生	620	539	609	529	522
2年生	678	697	628	666	644	2年生	627	620	539	609	529
3年生	670	683	701	635	663	3年生	647	630	623	541	612
4年生	673	672	691	696	634	4年生	664	648	631	624	541
5年生	781	676	675	690	704	5年生	637	667	651	634	627
6年生	729	785	680	671	691	6年生	705	638	668	652	635
全体	4,229	4,146	4,033	4,004	3,963	全体	3,900	3,742	3,721	3,589	3,466

■利用率の実績値及び推計値（過去5か年の利用傾向による推計）

《利用率(実績)》	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	《利用率(推計)》	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1年生	24.5%	25.0%	24.6%	25.1%	29.7%	1年生	31.0%	32.2%	33.5%	34.8%	36.1%
2年生	24.3%	23.7%	21.2%	24.6%	23.4%	2年生	23.2%	23.0%	22.8%	22.6%	22.3%
3年生	14.6%	22.0%	18.3%	20.9%	20.1%	3年生	21.4%	22.8%	24.1%	25.5%	26.9%
4年生	8.8%	8.5%	13.0%	11.9%	13.7%	4年生	15.0%	16.2%	17.4%	18.7%	19.9%
5年生	2.4%	2.8%	5.2%	4.5%	5.4%	5年生	6.1%	6.9%	7.6%	8.4%	9.1%
6年生	1.5%	1.1%	1.2%	2.7%	2.2%	6年生	2.3%	2.5%	2.7%	2.8%	3.0%

■利用児童の推計値（過去5年の利用傾向による推計）及びニーズ調査ベースの推計値との差

《推計値(実績ベース)》	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	《ニーズベースとの差》	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全体	631	627	655	647	655	全体	-628	-575	-540	-502	-460
低学年	477	460	477	459	471	低学年	-247	-223	-200	-182	-164
高学年	154	167	178	188	184	高学年	-381	-352	-340	-320	-296
1年生	192	174	204	184	189	1年生	-45	-31	-30	-17	-11
2年生	146	143	123	137	118	2年生	-94	-94	-82	-97	-83
3年生	139	143	150	138	164	3年生	-108	-98	-88	-68	-70
4年生	99	105	110	117	108	4年生	-78	-67	-58	-49	-35
5年生	39	46	50	53	57	5年生	-131	-131	-123	-116	-111
6年生	16	16	18	18	19	6年生	-172	-154	-159	-155	-150

8 利用者支援事業

【提供区域：全域】

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

現在、子育て支援サービスの利用についての相談は、子育て支援課や保健センター窓口で受けています。今後は、母子保健型として、十分に機能できるように関係機関等と連携会議を開催し、連携強化に努めます。

■量の見込みと確保方策

【基本型】

(単位：か所)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	1	1	2	2	2	推計値(ニース)					
第1期計画値	1	1	1	2	2	第2期見込値					
供給確保	1	1	1	2	2	確保方策	1	1	1	1	1

【母子保健型】

(単位：か所)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
推計値(ニース)					
第2期見込値					
確保方策	1	1	1	1	1

9 妊婦健康診査

【提供区域：全域】

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	6,704	6,385	6,441	5,953	5,822	推計値(コース)					
第1期計画値	7,952	7,784	7,616	7,420	7,168	第2期見込値	6,496	6,328	6,160	5,936	5,810
供給確保	7,952	7,784	7,616	7,420	7,168	確保方策	6,496	6,328	6,160	5,936	5,810

※各年度の出生数を基礎として算出（各年度の出生数の推計値×1人あたり14回の妊婦健診）

■参考

(単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出生数(推計)	464	452	440	424	415

10 乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問事業）

【提供区域：全域】

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

■量の見込みと確保方策

(単位：家庭)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	578	550	451	484	452	推計値(コース)					
第1期計画値	568	556	544	530	512	第2期見込値	464	452	440	424	415
供給確保	568	556	544	530	512	確保方策	464	452	440	424	415

※第2期見込値及び確保方策：すべての家庭を訪問（100%）

■参考

(単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出生数(推計)	464	452	440	424	415

11 養育支援訪問事業

【提供区域：全域】

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実績値	10	16	15	18	20	推計値(ニース)					
第1期計画値	23	23	23	23	23	第2期見込値	22	25	27	28	30
供給確保	23	23	23	23	23	確保方策	22	25	27	28	30

※第2期見込値：第1期計画の訪問率（平均増加率+0.03）を基礎として算出

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
年少人口(実績)	10,294	10,080	9,864	9,610	9,372	年少人口(推計)	9,076	8,868	8,650	8,398	8,123
訪問率	0.10%	0.16%	0.15%	0.19%	0.22%	訪問率(推計)	0.25%	0.28%	0.31%	0.34%	0.37%

12 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【提供区域：全域】

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。国や近隣の市町村の動向をみながら、必要に応じて実施の検討をします。

13 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【提供区域：全域】

多様な事業者の新規参入を支援するほか、特別な支援が必要な子どもを受け入れる認定こども園の設置者に対して、必要な費用の一部を補助する事業です。国や近隣の市町村の動向をみながら、必要に応じて実施の検討をします。